

九条の会

2007・12・6

第 99 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303
TEL 03-3221-5075
FAX 03-3221-5076

感動の波紋広げる第 2 回全国交流集会

報告活動へ報告集やビデオ等

九条の会第 2 回全国交流集会の参加者からは、「1 年間で数段の発展がある。前回はやや無理をしているとの印象が一部にあったが、今回は量・質ともに安定した前進が実感できた」との感想が寄せられています。

「九条の会」事務局ではこの集会をささえた運営委員会（東京・首都圏の「会」と分野別の「会」で構成）の総括会議を 12 月 17 日に開きます。また、集会の報告集（別項参照）とビデオ・DVD 作成の作業も並行してすすめられています。

なお、数字の上で見ると、今回の参加者は男 68%、女 32%、最年少 17 歳、最高齢 95 歳で、平均年齢は 63 歳でした。都道府県別の参加者は、東京 199 人を筆頭に、10 人を超えたのは、神奈川 81 人、埼玉 78 人、千葉 71 人、北海道 43 人、長野・愛知 27 人、茨城 21 人、大阪 18 人、兵庫 17 人、栃木 15 人、新潟・沖縄 13 人、京都 12 人です。

地方紙で広がる反響

第 2 回全国交流集会は大きな成功をおさめましたが、全国紙やテレビはいつものこ

「報告集」発行について

「九条の会」事務局は、第 2 回全国交流集会の報告集作成の準備をすすめています。

報告集には当日の呼びかけ人あいさつ、全体会における 5 つの会からの報告、11 分散会と青年分科会の報告のほか、分科会・分散会における発言（実際に発言できなかった方のものも含む）を収録することにしています。ただし、収録されるのは、文章化したものを事務局に届けた方にかぎります。また参加しなかった会からの投稿も受け付けます。

◆文字数 400 字（メール、ファックスでの送稿可）

◆締切 12 月 10 日

とながら無視する姿勢をとりました。しかし、当日のもよう取材した共同通信の記事は 24 の地方紙と 2 つの英字紙に掲載されました。また、神奈川新聞はこの全国交流集会そのものを「社説」でとりあげました。

「九条の会」運動が草の根に広がっていることを反映したものといえそうです。

◆共同通信

共同通信の配信は、「憲法9条を守ろうと、作家の大江健三郎氏らの呼び掛けで2004年から全国各地に広がった『九条の会』が24日、東京都内で全国交流集会を開き『すべての小学校区に会をつくり運動を前進させよう』とする訴えを採択した」と書き出し、全国約6800の「会」から510の「会」の1000人が参加し、「地域の新聞に意見広告を出した」、「富士山の5合目でビラを配った」などの報告をおこなったことを紹介しています。そして当日は、5人の呼び掛け人が参加したこと、加藤周一さんが、「任期中に改憲すると主張していた安倍政権は倒れたが、国連の下で武力行使が可能だという意見とか、憲法解釈で事実上の改憲を目指す動きもある。今後は長期的な運動が必要になった」と発言したことを報じています。

◆「神奈川新聞」社説

11月30日、「九条の会 多様な議論の広がり」に期待」とのタイトルの「社説」を掲げました。

「社説」では、「九条の会」結成から3年半が経過したことを紹介し、「この1年半に、全国で1627、県内で57増えた。集会には全都道府県から約千人が参加し、すべての小学校区（約2万2千）に草の根の会をつくるという壮大な目標も掲げた。改憲をめぐる攻防において、『九条の会』は護憲側の連帯の結節点となりうる存在だけに、行動の行方を注目したい」と述べています。

そして、「草の根の会の結成は、それぞれ当事者任せ。非武装中立派から、政府の現在の九条解釈論を支持する自衛隊・日米安保容認派まで、会員は“多様性”を誇って

いる」ことが「九条の会」の特質であることを指摘しています。

情勢の見方については、「現状は九条擁護に追い風が吹いているかに見えるが、集会では楽観論を戒める声も上がった。呼び掛け人で評論家の加藤周一さんは『安倍内閣より福田内閣の方が手ごわい。自衛隊派遣恒久法など、解釈で九条を空虚にしていく手法が取られるだろう。長丁場だ。これからが大変』と語った」と紹介しています。

そして空白区を埋めていくことやネットワークづくりを計画していることなど、今後の「九条の会」の運動にふれながら、『九条の会』には、新たな視点から9条の意義を再認識させるような創造的な議論を期待したい」と結んでいます。

◆北海道新聞コラム

北海道新聞のコラム「卓上四季」は11月24日、「若者と九条」のタイトルで、11月16日に東京の13の学生九条の会が実行委員会をつくって取り組んだ「Peace Night 9」をとりあげています。

『日本は米国の戦争を真っ先に支持する国から、真っ先に反対する国になってほしい』と訴えた高校生。『拝啓九条様あなたのことを思うと夜も眠れません』。大学院生は憲法を守り抜いていく決意をラブレターに読み込んで披露した」と、集会の内容を紹介しています。そして、「きょう24日、東京で『九条の会』の全国交流集会が行われる。各地の若者たちが思いや活動内容を語る分科会もある。報告が楽しみだ」と結んでいます。